

現地参加・WEB参加型学術講習会

# 『歯周病患者と向き合う前の心構え』

参加費無料!

12月17日(土) 14時30分～16時30分

参加方法

現地参加または「Zoom」でのWeb参加  
会場：京都経済センター「3-H」

参加資格

会員またはスタッフ

申込方法



参加申込はコチラから

- 現地参加の方  
⇒TELまたは左記QRコードからお申し込みください。
- Zoom参加の方  
⇒左記QRコードからお申し込みください。  
※左記のQRコードより申込フォームにアクセスのうえ、お申込み下さい。後日、Zoom参加用のID・パスワードなどをメールにて送付いたします。



## 講師・講演内容紹介

講演 1

### 「患者に話すべき歯周病と歯周治療のポイント」

講師：石原 裕一 氏 (公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 研究部)

歯周病の原因はプラークであることが1965年に明らかとなって以来、プラークコントロールを基礎として、予知性を持って歯を保存することが可能となりました。1990年後半からは糖尿病だけでなく、肥満、心臓病、早産、誤嚥性肺炎、そして近年では、リウマチや非アルコール性脂肪肝炎(NASH)と歯周病の関連がメディアにも多く取り上げられています。

その結果、歯を磨けば予防できるという方もいれば、いろんな病気に関わるから歯周病は怖いという方もいて、患者は歯周病に対していろいろな印象を抱いています。

そこで、今回の講演では患者が少しでも積極的に治療参加してもらうために行っている歯周病と歯周治療についての説明の勘所と来院時の患者の何を意識して医療面接、口腔内検査、病状・治療方針の説明をしているかを最近の歯周病に対するトピックを交えて紹介し、皆様が明日から患者とのコンプライアンス確立するのに役立つお話ができればと思います。



講演 2

### 「寄り添う歯周治療の本質とは」

講師：伊土 美南海 氏 (公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 普及啓事業部 歯科衛生士パートナー室)

近年のコロナウィルス感染症の拡大によって、人々の健康に対する意識の変化を実感しています。皆さん自身も自分の健康をいかに保つか、食事、運動、働き方など、今までよりも健康に対する意識に変化があったのではないのでしょうか。

歯科では「予防歯科」と言う言葉、そして重要性が広まり、口腔の健康が全身の健康に関係していることはすでに多くの方々がご存知であると思います。それに伴い、定期的な歯科医院の受診の必要性も徐々に認識、浸透されていると感じます。

歯科衛生士には、生涯患者さんに寄り添い口腔の健康を維持する重要な使命があります。

患者さんは「歯や口を健康にしたい!」「生涯健康なままいたい!」と思った時、多くの歯科医院からあなたのいる歯科医院を選んで来院します。歯科衛生士として患者さんにどのように関わっていけばよいのか、皆さまと一緒に考えていければと思います。



京都府歯科保険医協会

TEL:075-746-7680

Mail:Kyoto-sk@doc-net.or.jp